

「自然死」で看取るということ ～ 生き方、逝き方にむきあう ～

いずれは来る、大切な身内とのお別れのとき。命の終わりが近づいた本人を前にして、残される家族はどう向き合えばよいでしょうか。

妻として、看護師として、そして僧侶としてこの問題を深く見つめてきた玉置妙憂さんをお招きして、終末期の医療と介護、家族間のかかわりについてお話しいたします。

日時：令和8年10月10日（土）

14：30～16：00（受付開始13：45～）

会場：ヴェルクよこすか 6階ホール

横須賀市日の出町1-5（京急横須賀中央駅から徒歩7分）

参加費無料 定員150名（先着・事前申込制） 要約筆記あり

申込先：（公財）横須賀市健康福祉財団

TEL：046-824-3232（受付時間 平日 9：00～17：00）

ホームページ：https://yokosuka-kfz.or.jp

ホームページからのお申し込みはこちら ⇒

※手話通訳をご希望の方は、9/17（木）までにお申し出ください。



たまおき みょうゆう

講師：玉置 妙憂 氏（看護師・僧侶・スピリチュアルケア師）

東京都中野区生まれ。専修大学法学部卒業。国際医療福祉大学大学院修士課程保健医療学看護管理専攻看護管理学修士。夫を在宅で看取ったことをきっかけに、出家。高野山真言宗にて修行を積み僧侶となる。現在は非営利一般社団法人「大慈学苑」を設立し、終末期、ひきこもり、不登校、子育て、希死念慮、遺族の喪失悲嘆まで、幅広いスピリチュアルケアを実践している。ニッポン放送「テレフォン人生相談」パーソナリティ。

著書に『まずは、あなたのコップを満たしましょう』（飛鳥新社）、『死にゆく人の心に寄りそう 医療と宗教の間のケア』（光文社新書）、他多数。



主催：公益財団法人横須賀市健康福祉財団

共催：横須賀市